

現計画（平成27年度～令和元年度）では、基本理念「子どもを生き育てやすく、子どもが健やかに育つ奈良県」をめざし、3つの基本目標のもと施策を推進。その結果と次期計画に向けての課題は下記のとおり。

【現計画の取組概要】

- I 結婚・子育てをみんなで支える社会づくり**
- ・指標① 第1子出産前後の女性の継続就業率を55%に高める
 - ・指標② 女性（35～49歳）の就業率を65%に高める
- II 結婚の希望の実現と次代の親の育成**
- ・指標③ 若者（15～34歳）の年間所得200万円以上の人数割合を全国平均まで高める
 - ・指標④ 結婚を希望する若者を増やし、結婚の希望実現率を80%に高める
- III 子どもの健やかな育ちの実現**
- ・指標⑤ 夫婦の「理想の子ども数」に対する「実際の子ども数」の割合を95%に高める
- 推進施策10施策…成果指標：14指標、行動指標：58指標

【現計画の推進結果】

- ・**女性の就業率及び若者の結婚希望にかかる指標が改善（目標達成）**
- ・**夫婦は希望する子ども数を以前より持っていない**

[基本目標指標 5指標] 目標達成…指標②・④
改善…指標①・③ 悪化…指標⑤

[成果指標 14指標] 目標達成 5 (36%) 改善 9 (64%)

[行動指標 58指標] 目標達成19(33%) 改善22(38%)
変動なし 2 (3%) 悪化10(17%)
現段階で評価できず：5 (9%)

目標指標の進捗結果

計画推進後の現状

- ① 結婚や子育てに関する希望がかなうよう、雇用対策や就業支援、**男女ともワーク・ライフ・バランス**を推進
- ② 子どもの心身の健やかな育ちのため、**保護者が安心して子育てができる環境整備**を推進

- ・**女性のワーク・ライフ・バランスに関しては一定の成果**が見られる
[女性の就業率] ②56.2%→⑦64.1%で5年間の伸び率全国一
[妻の第一子出産後の継続就業率] ⑤約4割→⑩約5割に増加
- ・**しかし、男性のワーク・ライフ・バランスは、大きな成果は見られない**
[男性の働き方] 長時間労働割合、通勤時間、帰宅時間が依然全国上位
[男性の育児休業取得率] 5.0%(全国6.16%・政府目標2020年13%)
[子育ての関わり] 子育てに関われない夫の理由 8割が「仕事が忙しい」
- ・**なかでも、母親の子育ての不安感・負担感の軽減に関しては、改善していない**
[不安感負担感] 妻の子育ての不安感負担感を感じる割合は約半数。5年前よりやや増加
[夫婦の分担状況] 子育ての分担は妻に8～9割偏っている
(正規共働き夫婦の場合も偏りはほぼ同じ)
[夫婦の一体感] 子育ての一体感は夫が感じているほど妻は感じていない
[独身者への影響] 独身者の「子育てが楽しいと思う」割合は約2割
- ・**家庭だけでは子どもを守り切れない現状がある**
[児童虐待相談対応件数] ⑩過去最多件数

次期計画の課題

- ・女性の社会進出が進んでも、男性のワークライフバランスは遅々として改善しない。
- ・わからない、慣れない子育てを母親が一人で担い、子育ての不安感・負担感を抱えているという現状。産後うつや児童虐待にもつながる恐れ。
- ・このような現状を踏まえ、次期計画では、現計画の内容を継承しつつ、「すべての子どもが健やかに育つ」ために、家庭と地域の課題を改善することを**重要課題**とする。